

2024年6月9日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第67巻第11号(通算3393号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

小さくされている人を
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマの人々への手紙5:5)

教会創立65周年記念礼拝・花の子どもの日礼拝
聖霊降臨節 第4主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 詩編 16編 7節

賛美歌 21-448番「お招きに応えました」(©JASRAC)

聖書 ヨハネによる福音書 3章 36節

お祈り

賛美歌 21-360番「人の目には」(©著作権消滅)

メッセージ「信じる人になりたい」 水谷 憲 牧師

賛美歌 21-413番「キリストの腕は」(©JASRAC)

主の祈り 62番「天にいます わたしたちの父」(©教団讃美歌改訂委員会)

献げ物(*)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

祝福 水谷 憲 牧師

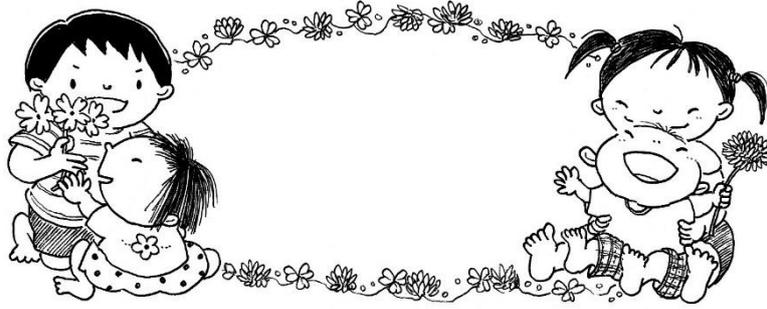
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讃美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*受付に献金箱がございます。

「献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。



^{まね}招きの^{ことば}詞 詩編 16 編 7 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

^{さと}諭してくださる主をたたえよう。

夜ごと、はらわたが私を^{いまし}戒める。

聖書 ヨハネによる福音書 3 章 36 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

御子を信じる人は永遠の命を得る。

しかし、御子に従わない者は、命を見ることがないばかりか、神の怒りがその上にとどまる。



《先週のメッセージより》6月2日

「信頼を身をもって示す」より

牛田匡牧師

聖書 ローマの信徒への手紙 10章5-18節

「オレオレ詐欺」や「架空請求詐欺」などの「特殊詐欺」が一向に無くなりません。ふと調べてみると「オレオレ詐欺」が登場してからもう20年にもなるそうです。警察からも「知らない人からの電話やメールは信じてはいけません」という注意喚起がなされています。「人を信頼する」というのは人間関係の根本であり、最初であるはずなのに、どうしてこんなおかしいことになってしまったのでしょうか。生きた「み言葉」を大切にしているキリスト教では、文字に書かれた「聖書」を大切にしているだけではなく、パウロが「口でイエスは主であると告白し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われる」(10:9)と記していることから、心で「信じる」だけではなく、「口で告白する」ということを重んじて来た歴史があります。しかし、それでは小さな子どもや、言葉をうまく発せない人は救われないのか、ということが問題になります。しかし、ヘブライ語の言語感覚では、身体の一部を指して、身体全体のことを表すということがあったようですから、「口で告白する」というのは「身をもって行動で示す」ということだったのだらうと思います。いつの時代でも、どこの社会でも、口だけの人よりも、きっちりと行動する人の方が信頼されたでしょう。聖書の中には「行いを欠く信仰は死んだもの」(ヤコブ2:14-17)という言葉もあります。

この世界は神様によって創られたものですから、私たちの身近には、いつも神様の働きを表している出来事に満ちあふれています。私たちが「神を信じる」と言う時、それは「神様がいつも共にいて下さる」ということ、だから「どんな時でも決して見放されていないということ」、その事実信頼しているということです。だからこそ、実際に行動を起こしてみることができるのであって、一步を踏み出してみることが求められているのだと思います。「神も仏もあったものか。この世界は悪いこと、絶望することばかりだ」としか思えないような時でも、それでもこの世界を創られた神様は確かに生きておられます。私たちはその神様によって、他でもないその神様と共にあって生かされているのだ、と信頼して歩むこと、それぞれの身をもってその信頼を示して行くこと。私たちは、今日これからもその力を与えられて、ここから歩み出して行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 6月2日

礼拝出席 大人2名 献金 大人2,000円 中継視聴者数15回 感謝
 礼拝後に予定していた6月期の「教会を考える会」は書面決議となりました。

◎次週 2024年6月16日(日) 聖霊降臨節第5主日礼拝

招きの詞 詩編 47編 2,6節
 聖書 ミカ書 4章 1-7節

メッセージ「幸せなら手をたたこう」牛田匡牧師

賛美歌 21-390 (©出版局)、21-371 (©出版局)、こ改-34 (©塩田泉)



◎お知らせ

- これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- 昨日6月8日(土)に、和歌山県かつらぎ町にある大浦農園にて、玉ねぎの収穫のお手伝いをする「縁農」が行われ、大人8人と子ども4人が参加しました。どうもありがとうございました。次回は6月29日(土)に、ジャガイモの収穫を予定しています。どなたでもご参加ください。詳細は牛田牧師までお問い合わせください。
- 6月15日(土)13時半~15時に、大阪クリスチャンセンターにて、大阪教区高齢者特別委員会主催の公開講座「私のリビングウイル ~人生の最終段階における私の希望」(講師:船戸正久医師)が開催されます。参加費は無料で、事前の申込も不要です。どなたでもご参加下さい。
- 6月16日(日)15時~17時に、いくのパーク(もと御幸森小学校)にて、大阪教区沖縄交流連帯特別委員会主催「第14回 慰霊の日に思いを馳せ、沖縄とつらなる集い」が開催されます。照屋寛之さんによる講演「ミサイル基地化する琉球弧の今 ~軍拡最前線の沖縄からの叫びと怒り」が行われます。参加費無料、事前の申込も不要です。どなたでもご参加下さい。いくのパークへのアクセスは、JR環状線「桃谷駅」より徒歩15分、大阪メトロ・JR環状線・近鉄「鶴橋駅」より徒歩20分です。

《公開講座》どなた様も大歓迎です!

主催:日本キリスト教団 大阪教区高齢者特別委員会

私のリビングウイル
 ~人生の最終段階における私の希望~

2024年6月15日(土)午後1時30分~3時
 講師:船戸正久医師

(社会福祉法人愛徳福祉会理事長 兼 大阪発達総合療育センター長
 元 淀川キリスト教病院副院長)

「リビングウイル」、それは不慮の事故があった時や終末期に、ご家族や医療従事者等に、自分らしい最期を迎えるための希望を表明した文書です。リビングウイルは、私たちが元気な時に用意すべきと考えています。このリビングウイルは医療の現場でどのような役割を果たすのか、長年「看取りの医療」に携わっておられる先生から、リビングウイルの使い方についてもお話いただけます。

★会場:大阪クリスチャンセンター2階 大阪市中央区玉造2-26-47 (電話:06-6762-7701)
 ★参加費:いりません。 ※軽微な参加費がかかりますので、お越しの際はご了承ください。

◆お問い合わせ先
 大阪教区事務局 (電話:06-6761-8662)
 委員長 森田博一 (電話:0721-02-2323)

◆お申し込みは下記までお願いいたします。
 ◆お申し込みは下記までお願いいたします。

第14回 慰霊の日に思いを馳せ、沖縄とつらなる集い

**ミサイル基地化する琉球弧の今
 ~軍拡最前線の沖縄からの叫びと怒り**

今年の6月23日は沖縄戦の犠牲者の追悼の日が経過後は79年を迎えます。この日沖縄では、特別な地上戦で亡くなった20万人を超える人々の命を覚えて島中が祈りに包まれます。「あらゆる地域があつた」といわれる想像を絶する悲しみと絶望を沖縄の人々は決して忘れる事なく、沖縄には復興軍基地が置かれ、平和な島を築き上げていません。さらに戦争のできる国へと突き進む日本政府の政策のもと、琉球島における軍事基地化が進められ、沖縄の人々はいのちの危機にさらされています。このように被害に巻き込まれたことが無難なことではございません。わたしたちがなすべきことを考え、行動していきたいと思えます。

講師 照屋寛之さん

プロフィール:1952年、沖縄県豊見城市(現うるま市)生まれ。日本大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。沖縄国際大学名誉教授、ミサイル配備から命を守るうるま市民の会共同代表。主な著作に「米軍基地と自治体対決」「沖縄国際大学総合学術紀要」2009年、「ミサイル戦争と立憲制」「沖縄県議会紀要」第3巻、2015年、照屋寛之 総野望録 中野英一編著「危機の時代と「知」の挑戦」藤樹社、2018年、「復興後の基地問題」『沖縄史』各編第7 現代(2022年)、『沖縄を再び戦場とさせない!』(進歩と改革研究会、2023年9月号)など。

講演後、米軍ヘリコプター基地反対・京都連絡会、瀬川頼嗣さんより報告アビレをさせていただきます。

日時 2024年6月16日(日)
 午後3時~5時(開場2時30分)
 場所 いくのパーク 1階多目的ホール
 (大阪市生野区橋谷5丁目5-37)

◆ 会場は台風等で講師が沖縄から東渡できない時のみ会場を替えて行きます。参加費無料(沖縄教区互助会として会場にてカンパを募集します)
 ◆ お問い合わせ:06-6892-6492、又は070-5345-7378(大阪府教会 直口)

主催 大阪教区 沖縄交流・連帯特別委員会

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
6/16	牛田匡牧師	
6/23	水谷憲牧師	おにぎり支援
6/30	牛田匡牧師	誕生者祝福式
7/7	牛田匡牧師	教会を考える会